平成 23 年 6 月 17 日

長野ナノテクフォーラム in 東京　開催報告書

長野県テクノ財団知的クラスター本部

長野県テクノ財団では、文部科学省の地域科学技術振興政策事業として平成 19 年度にスタートした 5 年計画の長野県全域 地域イノベーション戦略支援プログラム（旧 知的クラスター創成事業第Ⅱ期）を受け、信州型スーパーデバイスクラスター形成を目指し、信州大学や東京理科大学を中心に研究開発された高機能ナノテク材料を核に、地域の微細加工企業と連携した製品開発により地域活性化を図ってきました。

このプロジェクトが最終年度を迎え、その成果となる製品開発および事業化がここへきて着実に進展してきたことを踏まえ、最新の状況を世に広く発信して知っていただくとともに、今後の発展に向けた活動を進めるきっかけとなるフォーラムを 5 月 31 日に東京ステーションコンファレンスで開催しました。

報告会場となった東京ステーションコンファレンスには、定員を大きく上回る 240 名もの方々に参加いただき、プレゼンテーションと併設したポスターセッション会場は、多くの来場者で賑わいました。

１ 内容

◆開会　　13:00～13:20

◇主催者あいさつ　(財)長野県テクノ財団　理事長　市川　浩一郎

◇共催者代表あいさつ　長野県副知事　和田　恭良　　代理　東京事務所長　春日　良太

◇来賓代表あいさつ　文部科学省　科学技術・学術政策局
産業連携・地域支援課　木村 直人 地域支援企画官

◆基調講演　13:20～14:20　～グリーンイノベーションの推進～

「水素エネルギー社会実現に向けた取り組み」
九州大学 工学研究院 機械工学部門　西村 伸 教授
(独)産業技術総合研究所 水素材料先端科学技術研究センター水素高分子研究チーム長

◆活動報告　14:20～14:45　「信州スマートデバイスクラスターの産学官連携による取り組み」
(財)長野県テクノ財団　知的クラスター本部　事業総括　田多井 俊夫
(財)長野県テクノ財団　知的クラスター本部　研究統括　平井 利博

◆研究チーム別ナノテク研究の取り組み概要と事業化事例　15:15～17:25

◇セッション１「ナノカーボンを利用したスマートデバイス研究チーム・広域化プログラム」
信州大学 工学部 教授・カーボン科学研究所 所長　遠藤 守信
アート金属工業㈱　開発室　主査　金井 昌二

◇セッション２「有機無機ナノマテリアルを利用したスマートデバイス研究チーム」
信州大学 繊維学部 教授　村上　泰

◇セッション３「界面ナノテクノロジーを利用したスマートデバイス研究チーム」
東京理科大学 理工学部 教授　阿部 正彦
アクテイブ㈱　代表取締役社長　長濱　正光

◇セッション４「デバイス試作・創出 研究チーム」
長野県工業技術総合センター　所長　池田 博通
マイクロストーン㈱　代表取締役社長　白鳥 典彦

◆ポスターセッション　11:30～13:00、14:45～15:20

◆閉会　　17:25～17:30
（財）長野県テクノ財団　事務局長　林　宏行

2　会場写真

市川理事長・本部長 挨拶

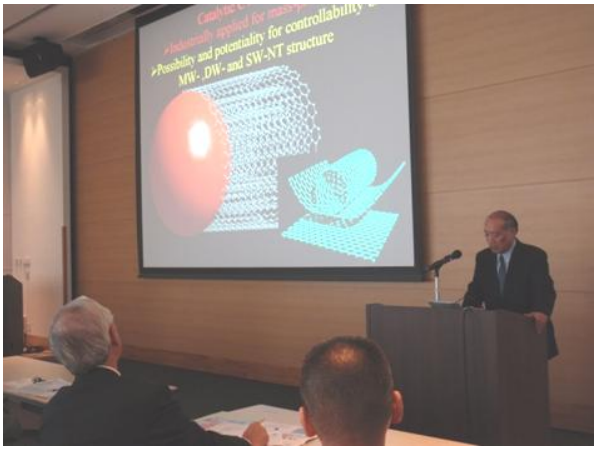
長野県東京事務所 春日所長 挨拶

文部科学省 産業連携・地域支援課 木村 企画幹 挨拶

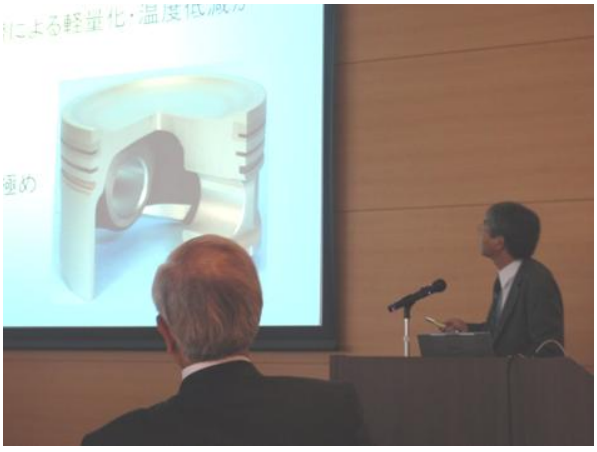
開会時の会場の様子

田多井 事業統括による事業実施状況報告

平井 研究統括による研究実施状況報告

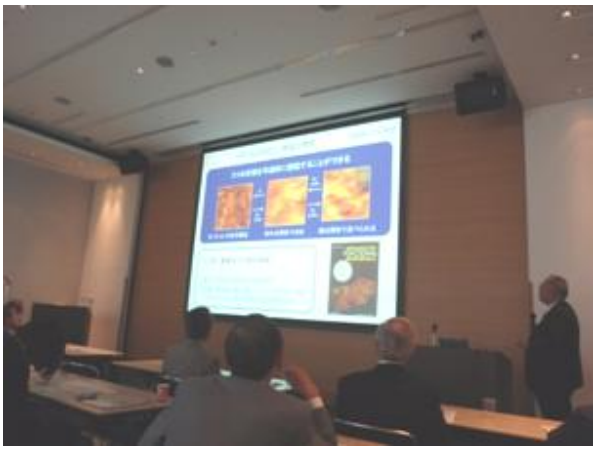


遠藤研究リーダーによるナノカーボン関係研究報告



アート金属 金井主査によるエンジンピストンへの応用報告

村上研究リーダーによる有機無機ナノマテリアル研究報告



阿部研究リーダーによる界面ナノマテリアル関係研究報告

アクティブ 長濱社長によるナノカプセルの事業応用報告

池田研究リーダーによるデバイス試作・創出研究報告

マイクロストーン 白鳥社長によるジャイロセンサーの研究報告

講演会場の様子

ポスターセッションの様子①

ポスターセッションの様子②